



aFrame

electroorganic percussion

EN

JA

Quick Start Guide

安全上のご注意

以下の安全性に関する指示を守らないと、火災、感電、負傷、またはaFrameやほかの物品/財産への損害を招くおそれがあります。

aFrameをご使用になる前に、必ず以下の安全性に関する情報をすべてお読みください。

記号について

	「ご注意ください」：注意喚起
	「～しないでください」：禁止
	「必ず実行してください」：強制

警告と注意について

 警告	死亡する可能性または重傷を負う可能性のある内容
 注意	傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性のある内容

 警告	
	分解、改造禁止 この製品を分解したり改造したりしない。
	次のような場所で使用、保管はしない ● 温度が高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く） ● 水気のある場所、湿度の高い場所（風呂場、濡れた床など） ● 塩害の恐れがある場所 ● 水や雨のかかる場所 ● ほこりの多い場所
	電源コードを傷つけない 電源コードを無理に曲げたり、傷つけたりしない。電源コードの上に重いものをのせない。電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
	付属のACアダプターを使用する ACアダプターは、必ず付属のものを使用する。電源は、決められた電圧で使用する。
	異常や故障が生じたときは電源を切る 次のような場合は、直ちに電源を切ってACアダプターをコンセントから抜き、お買い上げ店またはATVに修理を依頼する。 ● ACアダプター、電源コード、プラグが破損した場合 ● 煙が出たり、異臭がしたりした場合 ● 異物や液体が内部に入った場合 ● 機器に異常や故障が生じた場合
	落としたり、強い衝撃を与えたりしない この製品を落としたり、強い衝撃を与えない。
	濡れた手でACアダプターを抜き差ししない 感電のおそれがあります。

 注意	
	電源プラグを持って抜き差しする ACアダプターを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。
	たこ足配線はしない コンセント部が異常発熱して、火災の原因になります。
	電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る 感電やショートのおそれがあります。
	長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く 感電や火災、故障の原因になることがあります。
	本体を移動するときはすべての接続をはずす 電源コードやケーブルを破損したり、人がケーブルにつまづいて転倒したりすることがあります。
	不安定な場所に置かない 本体が転倒して故障したり、人がけがをしたりする原因になります。
	本体の上ののったり重いものをのせたりしない 本体が破損する原因になります。また、ボタン、ノブ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。故障の原因になります。
	大音量で長時間使用しない スピーカーやヘッドホンで大音量で長時間使用すると、聴力障害の原因になります。
	本体の取り扱いに注意する 角部や隙間で、手や指をけがするおそれがあります。
	小さな部品はお子様の手の届かない所に置く 小さな部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かない所に保管してください。
	本機のヘッドフォン出力、ライン出力をファンタム電源ONのミキサー、オーディオインタフェースなどのデバイスに接続しないでください。 本機のオーディオ出力を接続する前にファンタム電源をOFFにしてください。

使用上のご注意

設置

- テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など、ほかの電気製品の近くで使用しないでください。この製品またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- 直射日光のあたる場所、日中の車内、ストーブの近くなど、極端に温度が高くなるところで使用しないでください。本体が変形、変色したり、内部の部品が故障する原因になります。

電源

- 電源オフの状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 本機のヘッドフォン出力、ライン出力をファンタム電源ONのミキサー、オーディオインタフェースの入力チャンネルに接続しないでください。本機のオーディオ出力を接続する前にファンタム電源をOFFにしてください。
- 本機のヘッドフォン出力はステレオラインアウトとして安全に使用できます。接続する前に、本機のヘッドフォン出力音量をゼロに調整してください。

お手入れ

- お手入れには、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは、変色/変質の原因になりますので、使用しないでください。

データ

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねます。ご了承ください。
- 機器の故障や誤った操作などによって、記憶した内容が失われることがあります。大切な記憶内容はバックアップしてください。

著作権

- ATV株式会社および第三者から提供されている音楽/サウンドデータは、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。(私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除く)
- 製品に内蔵または付属されたコンテンツ(サウンドデータ、フレーズデータ、オーディオデータ、画像データ、コンピュータープログラムなど)の著作権は当社が保有しています。ATV株式会社の許諾なく、個人的な使用の範囲を超えて上記コンテンツを使用することは、著作権法等に基づき、許可されていません。
- 製品に内蔵または付属された上記コンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で、再販、配布、公開することはできません。ただし、この製品でエクスポートしたサウンドデータを無償で公開する場合は、この限りではありません。

本書

- 本書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものであり、実際の仕様と異なる場合があります。
- 本書に記載されている会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
パッキングリスト	5
各部の名称	6
演奏する前に	7
接続	7
ボタンの押し方	7
電源を入れる	7
電源を切る	8
オートパワーオフ	8
ミュート機能	8
センサーのレベルを調整する	9
ディスプレイの見方 (PLAY MODE)	9
音色を選ぶ	10
音色の構成	10
音色を選ぶ	12
現在のインストとエフェクトを確認する	12
インスト／エフェクトをエディットする	13
音をエディットする	13
エディットした内容を保存する	14
エディットしたインストを上書き保存する	14
エディットしたエフェクトを上書き保存する	14
すべてのパラメーターを初期化する	15
インスト／エフェクトの変更を保持して初期化する	15
システム・パラメーターの変更を保持して初期化する	15
工場出荷時の状態に戻す	15
主な仕様	16
サポート	17

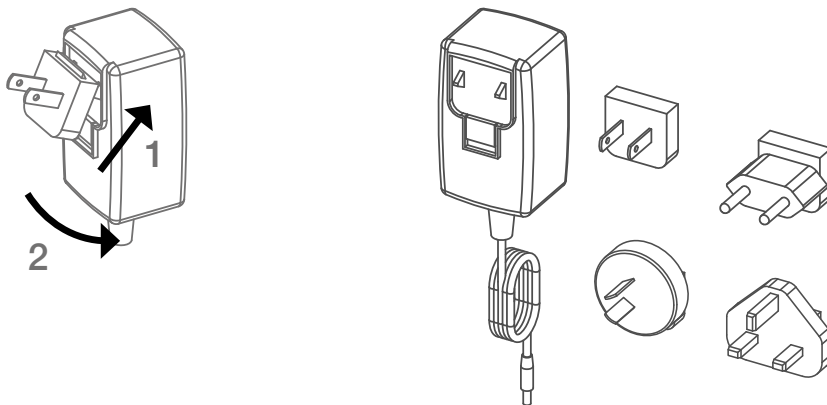
パッキングリスト

- aFrame(本体)
- ACアダプター

ACアダプターは、世界各国で使用できます。

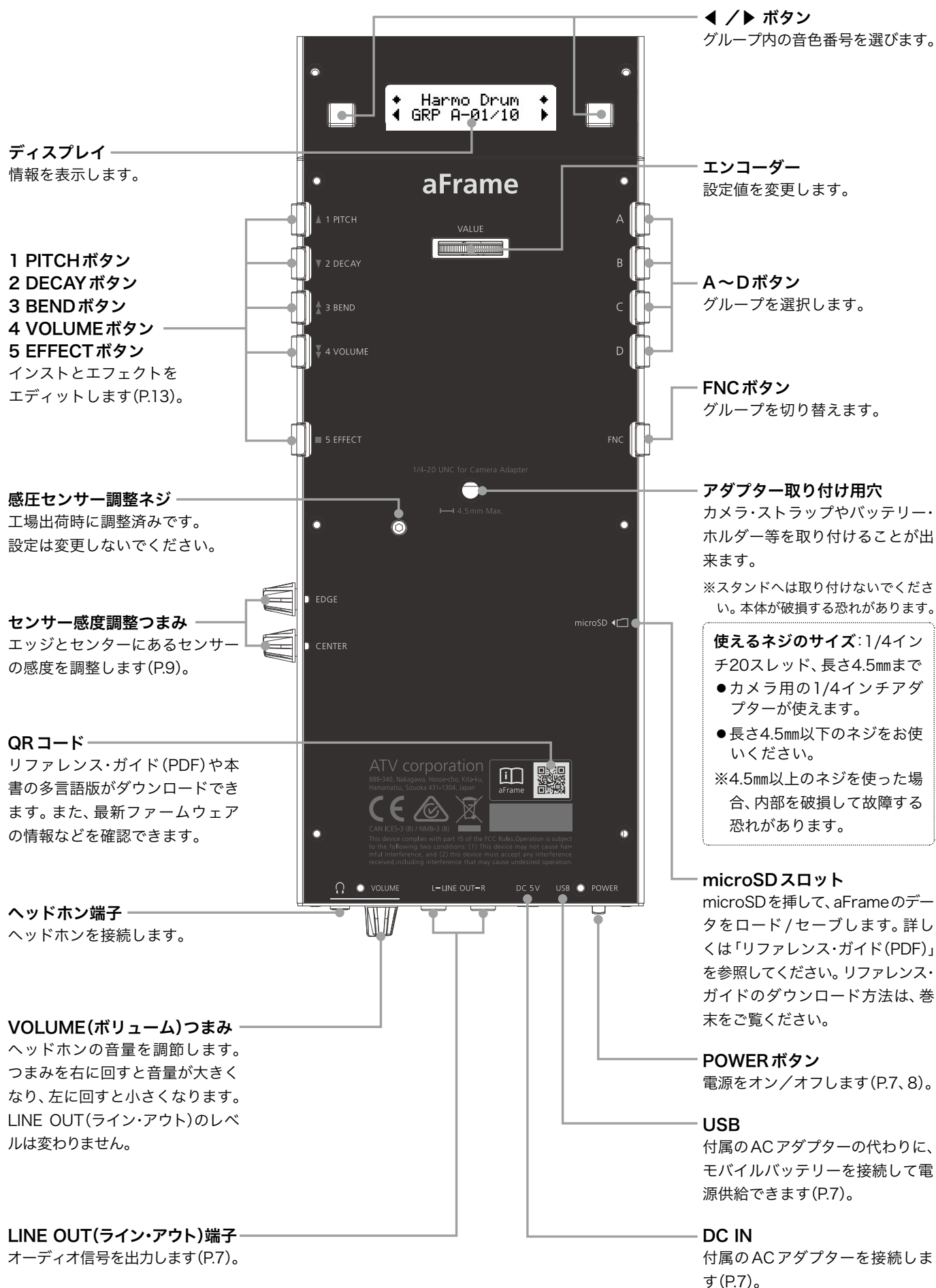
各国のアウトレット形状に合わせて、付属のプラグを装着してください。

必ず付属のACアダプターとプラグをご使用ください。



- 取扱説明書(本書)
- 保証書

各部の名称



演奏する前に

接続

付属のACアダプターをDC IN に接続するか、USBにモバイルバッテリーを繋いで電源を供給します。

音を聴くためには、ヘッドホン端子にヘッドホンを繋ぐか、ライン・アウト端子にパワード・スピーカー、ミキサー、オーディオインターフェースを接続します(P.6)。

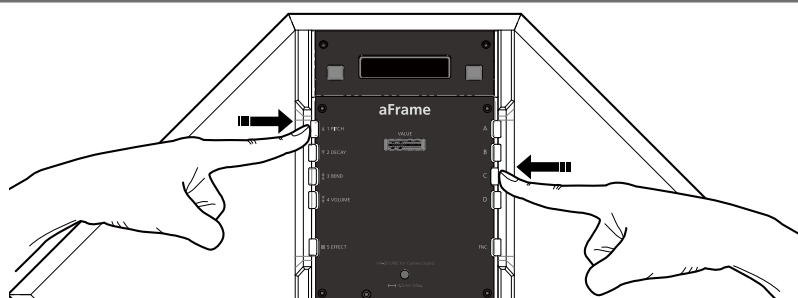
aFrameのオーディオ出力をファンタム電源ONのミキサー、オーディオインターフェースの入力チャンネルに接続しないでください。

aFrameと接続する前に入力チャンネルのファンタム電源をOFFしてください。

ファンタム電源はaFrameのオーディオバッファ回路を損傷してオーディオ出力が使えなくなることがあります。

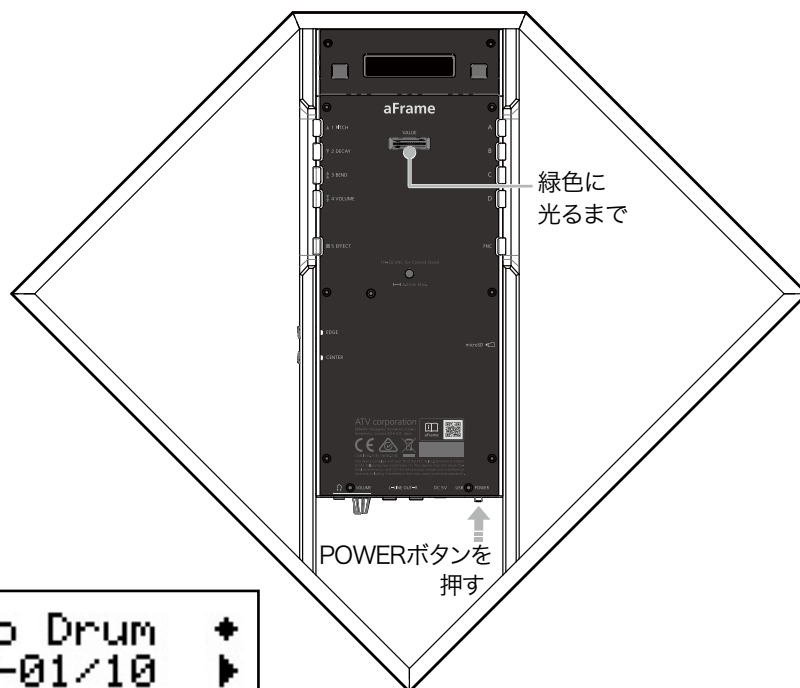
ボタンの押し方

パネルのボタンは、パネルの外側(右または左)から、矢印の方向(パネルの内側)に向かって軽く押します。

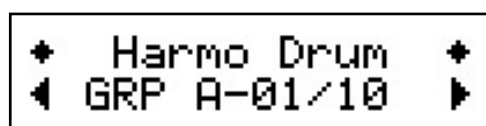


電源を入れる

aFrameを演奏する向きにして、中央にあるエンコーダーの周りが緑色に点灯するまでPOWERボタンを押し続けます。



ディスプレイに次のように表示され、演奏ができる状態(PLAY MODE)になります。



重要

- 電源を入れたときに、圧力センサーの「0点調整」を行います。PLAY MODEになるまで打面に触れないでください。
- POWERボタンをそのまま押し続けると、すべてのLEDが黄色に点灯し、ディスプレイにaFrameのバージョン・ナンバーを表示した状態で停止します。通常はエンコーダーの周りが緑色に点灯した時点で、POWERボタンを離してください。

電源を切る

POWER ボタンを約2秒間押し続けます。

ディスプレイに次のように表示されたら、POWER ボタンを離します。



Shut Down Ready
NOT remove Power

シャットダウン画面に切り替わり、インスト/エフェクトとグループ情報の書き込みを始めます。データの書き込みが終わるまで電源ケーブルを抜かないでください。

データの書き込み終了後、ディスプレイとLEDが消灯して電源が切れます。

重要

- POWER ボタンを離した後に本体へ編集データを書き込みますので、ディスプレイとLEDが消灯するまで電源ケーブルを抜かないでください。電源を切らず(シャットダウンせず)に電源ケーブルを抜くと、データが破損する場合があります。

オートパワーオフ

30分以上aFrameの演奏や操作をしないと、電源が自動的に切れます。

この機能を無効にする手順は、「リファレンス・ガイド(PDF)」を参照してください。リファレンス・ガイドのダウンロード方法は、巻末をご覧ください。

ミュート機能

演奏中にハウリングが起こったときや、不用意に音を出したくないときに、aFrameをミュート(音が出なくなる)状態にすることができます。

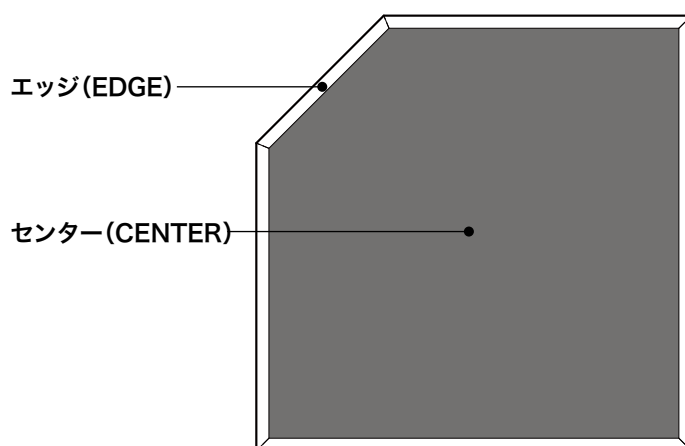
1. POWER ボタンを押してすぐに離します。エンコーダーが赤く点滅し、aFrameから音が出なくなります(ミュート)。
2. もう一度POWER ボタンを押してすぐに離すと、ミュートが解除されます。

センサーのレベルを調整する

エッジとセンターから受ける信号の感度を調整します。

センサー感度調整つまみ(P.6)を右に回すと感度が上がり、左に回すと感度が下がります。

演奏スタイルに合わせて調整してください。



aFrameの背面にあるエッジLEDとセンターLEDは、センサーからの信号の強さに応じて色を変えながら点滅します。

最適なダイナミックレンジとセンサー感度であるときはLEDは緑色または黄色に点滅します。

中間程度の強打でLEDが頻繁に赤く点滅する場合は、aFrameの側面にあるノブを使用してエッジセンサーとセンターセンサーの感度を下げてください。

極端な力が加わったときにのみLEDが赤く点滅するようにセンサーの感度を調整してください。

ディスプレイの見方(PLEASE MODE)

aFrameで演奏ができる状態をPLEASE MODEといいます。

PLEASE MODEのとき、ディスプレイにはインスト名とグループや音色番号などの情報が表示されます。



音色を選ぶ

音色の構成

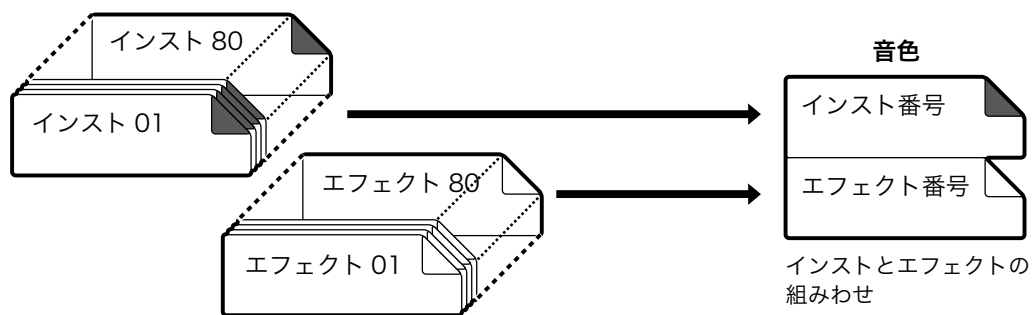
インストとエフェクト

aFrameには、「インスト」という楽器音と「エフェクト」という効果があります。
インストとエフェクトはそれぞれ80種類ずつ、aFrame本体に内蔵されています。

インストとエフェクトはそれぞれ、名前や音量などのパラメーターを持っています。
これらのパラメーターはエディットすることができます(P.13)。

音色

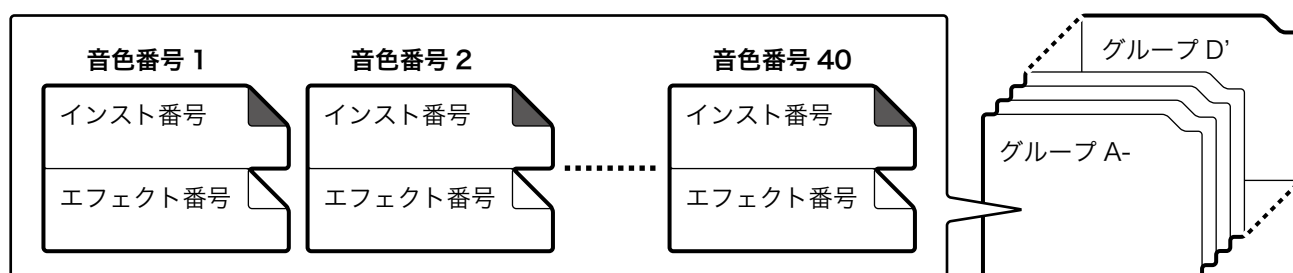
aFrameの音色は、インストとエフェクトの組み合わせでできています。



グループ

音色(インストとエフェクトの組み合わせ)を素早く呼び出すために、8つのグループにわけて本体に保存することができます。1つのグループには、最大40個の音色を持つことができ、グループごとに呼び出せる音色の数は変更できます。変更方法は「リファレンス・ガイド(PDF)」を参照してください。リファレンス・ガイドのダウンロード方法は、巻末をご覧ください。

グループは本体右側のA、B、C、Dボタンで呼び出し、グループA-～D-とグループA'～D'はFNCボタンで切り替えます。



工場出荷時は、次のように設定されています。

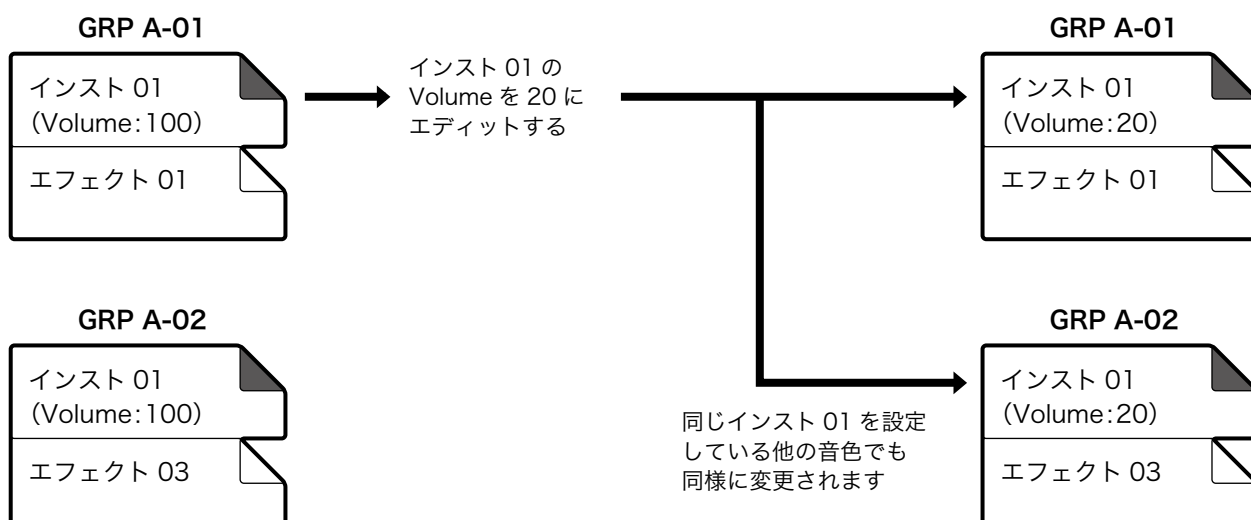
ボタン	グループ	音色番号	LEDの色	グループ	音色番号	LEDの色
A	A-	01-10	緑色	A'	01-10	黄色
B	B-	01-10		B'	01-10	
C	C-	01-10		C'	01-10	
D	D-	01-10		D'	01-10	

↑ ————— FNC ボタンで切り替え ————— ↑

重要

- パラメーターはインストとエフェクトが持っています。そのため、インストやエフェクトのパラメーターをエディットすると、同じインストやエフェクトを設定している音色のパラメーターも同様に変更されます。

例えば、GRP A-01とGRP A-02に同じインストを設定した場合、GRP A-01のインストのパラメーターを変更すると、GRP A-02のインストのパラメーターも同様に変更されます。



音色を選ぶ

1. A～D ボタンを押して、グループを選びます。FNC ボタンでグループ A-～D- とグループ A'～D' を切り替えることができます。選んだボタンの LED が、グループ A-～D- が選ばれているときは緑色に、グループ A'～D' が選ばれているときは黄色に点灯します。
2. ◀ / ▶ ボタンを使って音色の番号を選びます。



現在のインストとエフェクトを確認する

エンコーダーを押します。エンコーダーを押している間、ディスプレイには選択中の音色に設定されているインストとエフェクトが表示されます。

意図せずに何かのボタンを押してしまい、PLAY MODE (P.9) とは違うモードに入ってしまうことがあります。その場合は、次の方法で PLAY MODE に戻ることができます。

▶ディスプレイの表示がPLAY MODE (P.9) 以外になったら……

ディスプレイの表示がPLAY MODE (P.9) になるまで、[5 EFFECT] ボタンを長押しします。

▶ディスプレイの表示はPLAY MODE のまま、音が出なくなったら……

ミュート機能 (P.8) がオンになっている可能性があります。ミュートを解除してください (P.8)。

音をエディットする

インスト／エフェクトをエディットする

1. エディットするパラメーターに対応する番号のボタンを押し続けます。
押しているボタンとエンコーダーが点灯します。

ボタン	パラメーター	設定項目	設定値
1 PITCH	Pitch	音程	20～10000(Hz)
2 DECAY	Decay	音の減衰時間	0.1～10.0(sec)
3 BEND	Bend Range	打面を強く押したときのピッチの変化量	0～100
4 VOLUME	Master Volume	音量	0～127
5 EFFECT	Effect	エフェクトの出力レベル	0～100

2. ボタンを押したままの状態ではエンコーダーを回し、値を設定します。
3. ボタンを離すとPLAY MODEに戻ります。

重要

- インストやエフェクトをエディットすると、エディットしたインストまたはエフェクトが設定されているすべての音色が変更されます。

エディットした内容を保存する

エディットした内容は、そのままではインストやエフェクトに記憶されません。
変更を保存するためには、下記の手順にしたがって保存をしてください。

エディットしたインストを上書き保存する

1. [1 PITCH]ボタンと[2 DECAY]ボタンを同時に押します。[1 PITCH]～[4 VOLUME]ボタンとエンコーダーが緑色に点灯し、[5 EFFECT]ボタンが赤く点灯します。
2. [5 EFFECT]ボタンを押します。エンコーダーが赤く点滅します。
3. エディット内容を上書きするには、エンコーダーを押します。
上書き保存をキャンセルするには、[5 EFFECT]ボタンを長押しします。

エディットしたエフェクトを上書き保存する

1. [3 BEND]ボタンと[4 VOLUME]ボタンを同時に押します。
[1 PITCH]～[4 VOLUME]ボタンとエンコーダーが黄色に点灯し、[5 EFFECT]ボタンが赤く点灯します。
 2. [5 EFFECT]ボタンを押します。エンコーダーが赤く点滅します。
 3. エディット内容を上書きするには、エンコーダーを押します。
上書き保存をキャンセルするには、[5 EFFECT]ボタンを長押しします。
- 他のインスト番号/エフェクト番号に保存することもできます。詳しくは「リファレンス・ガイド(PDF)」を参照してください。リファレンス・ガイドのダウンロード方法は、巻末をご覧ください。

工場出荷時の状態に戻す

すべてのパラメーターを初期化する

aFrameを、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

1. aFrameの電源を切ります(P.8)。
2. エンコーダーを押しながらPOWERボタンを押し続けます。
3. ディスプレイに右図のように表示されたら、エンコーダーとPOWERボタンを離します。
4. ▶ボタンを押します。システム設定をはじめ、インスト、エフェクト、グループなど、すべての設定が工場出荷時の状態に戻ります。
初期化をキャンセルするには、◀ボタンを押します。

A rectangular LCD display with a black background and white text. The text is arranged in two lines: the top line reads 'Init SYS/Project' and the bottom line reads '◀No Sure? Yes▶'.

インスト／エフェクトの変更を保持して初期化する

エディットしたインストとエフェクトの変更を保持したまま、グループと、インストとエフェクトの組み合わせ情報のみをお買い上げ時の状態に戻します。

1. aFrameの電源を切ります(P.8)。
2. FNCボタンを押しながらPOWERボタンを押し続けます。
3. ディスプレイに右図のように表示されたら、FNCボタンとPOWERボタンを離します。
4. ▶ボタンを押します。エディットしたグループと、インストとエフェクトの組み合わせ情報が工場出荷時の状態に戻ります(エディットしたインストとエフェクトや、システム・パラメーターは初期化されません)。
初期化をキャンセルするには、◀ボタンを押します。

A rectangular LCD display with a black background and white text. The text is arranged in two lines: the top line reads 'Init GRP Memory' and the bottom line reads '◀No Sure? Yes▶'.

システム・パラメーターの変更を保持して初期化する

LCDコントラストやオートパワーオフの時間設定など、エディットしたシステム・パラメーターの変更を保持したまま初期化します。

エディットしたインスト／エフェクトのパラメーターや、グループ、インストとエフェクトの組み合わせ情報は初期化されます。

1. aFrameの電源を切ります(P.8)。
2. [5 EFFECT]ボタンを押しながらPOWERボタンを押し続けます。
3. ディスプレイに右図のように表示されたら、[5 EFFECT]ボタンとPOWERボタンを離します。
4. ▶ボタンを押します。システム・パラメーター以外の設定が工場出荷時の状態に戻ります。
初期化をキャンセルするには、◀ボタンを押します。

A rectangular LCD display with a black background and white text. The text is arranged in two lines: the top line reads 'Init INST/EFFECT' and the bottom line reads '◀No Sure? Yes▶'.

主な仕様

Electrorganic Percussion

Model : aFrame

接続端子／インターフェース	HEADPHONE : ステレオ・ミニ・フォン LINE OUT L/R : モノラル標準フォン DC IN : 付属 AC アダプター専用 USB : micro USB Type B コネクタ microSD : SD/SDHC カード
電源	DC 5V
消費電流	500mA
外形寸法	380(H) × 380(W) × 44(D)mm
質量	1.6 kg

※製品の仕様や外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

サポート

より詳しい情報、機能の説明については「リファレンス・ガイド」PDFをご覧ください。

PDFは以下のURLよりダウンロードできます。

Q&A、ファームウェア・アップデート、その他の情報につきましては、以下のURLよりご覧ください。

また、本書の多言語版が以下のURLよりダウンロードできます。



<http://www.atvcorporation.com/support/perc/aframe/>

Music and Video RE-IMAGINED
www.atvcorporation.com